麻酔科専門医申請における経験症例の該当性に関する
問い合わせ Q&A 集約版

変更日：2026 年　9 月 11 日

1. 基本原則

共通の判断原則は以下の通り。

- 外科的侵襲が小さく、必ずしも麻酔管理を必要としない手技（ペースメーカー植込み、 Impella 挿入、フォガティーによる血栓除去等）は該当しない。
- 装置・デバイスの交換のみでアプローチ部位（頭蓋内・心臓）を術野に含まない手技（脳刺激装置ジェネレーター交換、ペースメーカー交換、シャントチューブ交換等）は該当しない。
- 特定術式への症例の偏り（脳神経外科における内視鏡手術・VP シャント術が非常に多い等）は審査の対象となり、追加症例を求められる場合がある。
- 複数カテゴリに該当する症例（片肺換気を伴う心臓手術等）の登録カテゴリは、当該麻酔科医・施設の判断に委ねる。

2. 胸部外科手術の麻酔

基本的な考え方：肺・食道手術の麻酔管理で、片肺換気（分離肺換気）を要するもの

2.1 該当する

術式	回答の要旨
片肺換気を必要とする食道切除術	該当
人工気胸を用いた鏡視下食道切除術・ ロボット支援下食道手術・縦隔腫瘍手術	分離肺換気操作を行わなくても該当 （人工気胸など。片肺換気に準じた管理を要するため）
乳び胸手術（分離肺換気を伴う）	該当

2.2 他分野に分類・条件付き

術式	回答の要旨
分離肺換気を伴う心臓手術	「心臓外科手術の麻酔」に該当。ただし、当該麻酔科医・施設の判断で胸部外科として登録しても可

3. 脳神経外科手術の麻酔

基本的な考え方：開頭手術を基本とし、血管内手術は含まれない。

3.1 該当する

術式	回答の要旨・条件
開頭手術全般	定義上の基本
内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術（経鼻下垂体腫瘍摘出術）・経蝶形骨洞手術	該当。ただし症例に偏りがある場合は審査対象となり、追加症例を求められることがある
STA-MCA バイパス術	該当
穿頭脳室ドレナージ術	該当
定位脳腫瘍生検	該当
内視鏡下脳内血腫除去術	該当。ただし症例に偏りがある場合は審査対象となり、追加症例を求められることがある
内視鏡下第三脳室底開窓術	同上
頭蓋内微小血管減圧術	該当
脳膿瘍排膿術	該当
頭蓋形成術	該当。形成外科の手術でも、脳神経外科が手術に関与し研修プログラム責任者が脳神経外科手術と認れば該当
VP シャント術	該当（LP シャント術は非該当）

3.2 該当しない

術式	回答の要旨
脳血管内手術（コイル塞栓等）	非該当
内頚動脈内膜剥離術（CEA）	非該当
LP シャント術	非該当
VP シャント再建術（穿頭を伴わないチューブ・バルブ交換のみ）	非該当
髄液シャント抜去術	非該当
脳刺激装置交換術（ジェネレーター交換）	非該当（リード操作なし・術野に頭部を含まないため）

4. 心臓血管外科手術（1 群）の麻酔

基本的な考え方：人工心肺装置を使用した心臓血管外科手術および OPCAB は 1 群に分類。ただし、VA-ECMO は人工心肺とはみなさない。

4.1 該当する（1 群）

術式	回答の要旨
人工心肺使用の心臓血管外科手術全般・OPCAB	1 群の基本定義
植込み型左心室補助装置（LVAD）装着術	1 群に該当
心移植術	1 群に該当
心臓腫瘍摘出術	1 群に該当
肺動脈塞栓除去術	1 群に該当
Maze 手術（人工心肺使用）	1 群に該当
人工心肺使用下の TEVAR（腹部大動脈瘤）	TEVAR は 2 群だが、人工心肺使用の場合は 1 群に該当
収縮性心膜炎手術（人工心肺使用の場合）	該当（人工心肺不使用の場合は 2 群）

4.2 該当しない（心臓血管外科手術の麻酔として認められない）

術式	回答の要旨
経静脈電極（リード）抜去術（エキシマレーザー使用を含む）	非該当
経皮的循環補助法（Impella 等ポンプカテーテル）	非該当
下大静脈フィルター挿入術	非該当
試験開胸術・試験開心術	非該当
心筋縫合止血術	非該当
VA-ECMO 下の心臓血管手術	VA-ECMO は人工心肺とみなさず、非該当
Central ECMO の挿入・抜去のみの術式	非該当
心膜開窓術・心膜切開術	1 群としては非該当（2 群に該当）
ペースメーカー移植術・交換術	非該当（局所麻酔で施行し得る侵襲度のため）
肺静脈隔離術（単独）	1 群としては非該当（2 群に該当）

5. 心臓血管外科手術（2 群）の麻酔

基本的な考え方：人工心肺装置非使用の心臓大血管手術が対象（低侵襲手術を含む）

5.1 該当する（2 群）— 経カテーテル・経皮的手技

術式	回答の要旨・条件
TAVI／BAV	該当
TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト）	該当

術式	回答の要旨・条件
EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト）	該当（腸骨動脈瘤のみは非該当）
経皮的・経カテーテル心房中隔欠損（ASD）卵円孔開存（PFO）・動脈管開存（PDA）閉鎖術	該当
経カテーテル弁周囲逆流（PVL）閉鎖術	該当
経カテーテル肺動脈弁留置術（TPVI）	該当
MitraClip（経皮的・経カテーテル僧帽弁形成術）／PTMC	該当
経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN、Amulet 等）	該当
先天性心疾患に対するカテーテル治療（側副血行路コイル塞栓術、肺動脈バルーン拡張術等）	該当
小児（15 歳未満）の心臓カテーテル治療（全身麻酔）	該当。ただし検査のみで治療を伴わない場合は非該当
全身麻酔下のカテーテルアブレーション（心房細動・心房頻拍・心室頻拍・心室細動）、小児アブレーション	該当

5.2 該当する（2 群）— 開胸・胸腔鏡・開腹手術（人工心肺不使用）

術式	回答の要旨・条件
胸腔鏡下左心耳切除術・側開胸左心耳閉鎖術・ウルフ・オオツカ手術	該当
胸腔鏡下 Maze 手術	該当（人工心肺使用の Maze 手術は 1 群）
収縮性心膜炎手術（心膜切開・開窓術、胸骨正中切開・人工心肺不使用）	該当
心膜切開・開窓術	該当
LVAD 離脱術（人工心肺不使用）	該当
肺動脈絞扼術（PA バンディング）	該当
BT シャント（体動脈肺動脈短絡手術）	該当
腹部大動脈瘤に対する開腹人工血管置換術（Y 型人工血管置換術を含む）	該当

5.3 該当しない（2 群）

術式	回答の要旨
Impella 挿入・入替（経皮的循環補助法：ポンプカテーテル）	外科的侵襲が少なく、必ずしも麻酔を必要としないため非該当
再開胸止血術（人工心肺不使用）	非該当
腸骨動脈瘤のみに対する手術（人工血管置換・EVAR、両側例を含む）	非該当（麻酔管理の難易度が高くないと判断）
大腿動脈瘤・鎖骨下動脈瘤の手術	非該当
末梢血管手術・血管移植術、各種動脈バイパス術（大腿―大腿、腋窩―大腿、鎖骨下―内頚動脈、大動脈―鎖骨下動脈、下肢バイパス）	非該当
経皮的動脈血栓除去術（フォガティーカテーテル）	非該当（麻酔管理の難易度が高くないと判断）
VV-ECMO 離脱（呼吸不全）	非該当
S-ICD 等デバイス新規植込み	非該当
ICD/CRT-D/PM リード抜去（エキシマレーザーシース使用）	非該当
小児心臓カテーテル検査（治療を伴わないもの）	原則非該当（ASD 閉鎖術等の治療を除く）